

八幡平観光新聞

令和元年
10/28
八幡平DMO
発行人:文責
鳥海良信



「取り損ねた夏休み」モニター報告！

■八幡平先取紅葉の旅
先月(10)のコーナーで紹介した「時期を又うしだした夏休み」の対応プラン、早速応募があり「八幡平の先取り紅葉の旅」を満喫いただきました。

東京からの女性2名組で、以前三ツ石の紅葉に感激された方の、お友達を誘ってのお申込みでした。



■ワンフック上の提案
日程は2泊3日で、お一人が山歩き初心者の方、中日は「自然散策バス」で山頂へ行き、無料ガイドでの散策を計画されていました。

■8アクションプラン
今回は第3項の「戦略策定のためのマーケティングデータ収集」について考えます。

①必要データ指標整理
②戦略的データの比較
③戦略・計画への活用
④課題としては:
⑤実態データの把握
⑥魅力が響く対象確認
⑦データに基づく計画
⑧そのPDCA管理を挙げています。

9月30日 快晴!

■「山頂の散策」から「トレッキング」への変更に、若干緊張されたようですが、写真でご紹介した「真っ赤な絨毯の様な紅葉」を目指し、快晴の中を元気に出発されました。

この時期、週末は県内外から大勢の愛好家が訪れ、富士山並みの渋滞が起る日もありますが、平日は適度な賑わいの中、東北一早いと言われる紅葉を満喫できます。

以前に登られた時は、山台にお住まれたご友人ご夫妻と松川温泉に泊まって登られたこと事で「もう一度あの真っ赤な紅葉が観られるのが嬉しい!!!」と大変喜んでいらっしゃいました。

■「観光振興計画」について考える
振興計画が17年開示、DMOが18年起動の為、DMOははじまりましたが、8/26の報告会資料の様な形でスタートしています。活動報告を参考に下さい。

10月01日 快晴!

■ガイド初めの安心感
今回、初めてのガイドトレッキングを体験されたこと事で、お話を聞いてみると、ガイドさんの抱いている大きなリユクが、気になったこと事で、その中歩きたながら、その中には何が入っているのか?それほどの位重いか?の質問攻めだった様で、朝食時にお湯を沸かして味噌汁をご用意した時にも、随分感激頂いた様です。

「女性のトレッキング」は周りに増えています。コースは周りに増えています。コースは周りに増えています。コースは周りに増えています。

前回は触れましたが、ピークの価格を上げてこの時期を少し安く見せる事で、紅葉の活性化期間を長く確保するエリア戦略が必要で、

また、国内/外、国別個人/団体、周遊/滞在などの利用形態別の動向が定期調査される必要があり、各事業者さんと協議・協力を体制をとって参ります。

10月01日 快晴!

■東北の紅葉には、ちょっと早い時期だし、マイカが動きませんが、平日なので他県ナンバーは少ない。各お宿さんに聞いてみたら、やはり客室は未だ半分空いているとお話でした。

「東北の紅葉」には、ちょっと早い時期だし、マイカが動きませんが、平日なので他県ナンバーは少ない。各お宿さんに聞いてみたら、やはり客室は未だ半分空いているとお話でした。

「東北の紅葉」には、ちょっと早い時期だし、マイカが動きませんが、平日なので他県ナンバーは少ない。各お宿さんに聞いてみたら、やはり客室は未だ半分空いているとお話でした。

また、国内/外、国別個人/団体、周遊/滞在などの利用形態別の動向が定期調査される必要があり、各事業者さんと協議・協力を体制をとって参ります。

10月01日 快晴!

■「東北の紅葉」には、ちょっと早い時期だし、マイカが動きませんが、平日なので他県ナンバーは少ない。各お宿さんに聞いてみたら、やはり客室は未だ半分空いているとお話でした。

「東北の紅葉」には、ちょっと早い時期だし、マイカが動きませんが、平日なので他県ナンバーは少ない。各お宿さんに聞いてみたら、やはり客室は未だ半分空いているとお話でした。

「東北の紅葉」には、ちょっと早い時期だし、マイカが動きませんが、平日なので他県ナンバーは少ない。各お宿さんに聞いてみたら、やはり客室は未だ半分空いているとお話でした。

また、国内/外、国別個人/団体、周遊/滞在などの利用形態別の動向が定期調査される必要があり、各事業者さんと協議・協力を体制をとって参ります。

10月01日 快晴!

■「東北の紅葉」には、ちょっと早い時期だし、マイカが動きませんが、平日なので他県ナンバーは少ない。各お宿さんに聞いてみたら、やはり客室は未だ半分空いているとお話でした。

「東北の紅葉」には、ちょっと早い時期だし、マイカが動きませんが、平日なので他県ナンバーは少ない。各お宿さんに聞いてみたら、やはり客室は未だ半分空いているとお話でした。

「東北の紅葉」には、ちょっと早い時期だし、マイカが動きませんが、平日なので他県ナンバーは少ない。各お宿さんに聞いてみたら、やはり客室は未だ半分空いているとお話でした。

また、国内/外、国別個人/団体、周遊/滞在などの利用形態別の動向が定期調査される必要があり、各事業者さんと協議・協力を体制をとって参ります。

10月01日 快晴!

■「東北の紅葉」には、ちょっと早い時期だし、マイカが動きませんが、平日なので他県ナンバーは少ない。各お宿さんに聞いてみたら、やはり客室は未だ半分空いているとお話でした。

「東北の紅葉」には、ちょっと早い時期だし、マイカが動きませんが、平日なので他県ナンバーは少ない。各お宿さんに聞いてみたら、やはり客室は未だ半分空いているとお話でした。

「東北の紅葉」には、ちょっと早い時期だし、マイカが動きませんが、平日なので他県ナンバーは少ない。各お宿さんに聞いてみたら、やはり客室は未だ半分空いているとお話でした。

また、国内/外、国別個人/団体、周遊/滞在などの利用形態別の動向が定期調査される必要があり、各事業者さんと協議・協力を体制をとって参ります。

10月01日 快晴!

「東北の紅葉」には、ちょっと早い時期だし、マイカが動きませんが、平日なので他県ナンバーは少ない。各お宿さんに聞いてみたら、やはり客室は未だ半分空いているとお話でした。

「東北の紅葉」には、ちょっと早い時期だし、マイカが動きませんが、平日なので他県ナンバーは少ない。各お宿さんに聞いてみたら、やはり客室は未だ半分空いているとお話でした。

「東北の紅葉」には、ちょっと早い時期だし、マイカが動きませんが、平日なので他県ナンバーは少ない。各お宿さんに聞いてみたら、やはり客室は未だ半分空いているとお話でした。

また、国内/外、国別個人/団体、周遊/滞在などの利用形態別の動向が定期調査される必要があり、各事業者さんと協議・協力を体制をとって参ります。

DMOの挑戦領域

6月時点で、観光協会さんとの棲み分けて、DMOは当面、これまでなかなか獲得し込められなかった領域「海外も含む滞在型人旅行」へ注力する旨説明をさせて頂きました。

個人商品の基軸は！ これ迄の調査から、八幡平の強みと市場の機会を踏まえて、
①冒険 アドベンチャー
②癒し 自然との共生
③食旅 北国の食文化
④冒険について：山岳リゾートとして進行領域にあり、象徴的な旧八幡平スキー場のバックカントリーも本格的に稼働します。
⑤癒しについて：自然との共生を軸に、今回重点課題として取り上げました。

食旅ツアーでは提供し難い「拘り食材」を中心に、北国の食文化を商品化する方向です。
コンテンツ造成検討
訪問ローバーハイキャブを、欧米豪市場を中心に、魅力的な旅行先として日本を認識してもらおう狙いで、戦略的なコンテンツ造成や受け入れ環境整備がテーマです。10月01日とその為のセミナーを開催しました。

今回は、他所から移り住んで来た方々の視点で、八幡平の魅力を活かすことが出来れば、その素敵な暮らしに触れる中で「より深い八幡平を知る観光」を探って行きます。併い、10月01日は：
①訪日外国人を迎え入れる体験コンテンツのポテンシャルの理解
②体験コンテンツの創り方・磨き方・届け方のポイントの理解
この2点を中心にセミナーを開催しました。

自然との共生Project

今回は、他所から移り住んで来た方々の視点で、八幡平の魅力を活かすことが出来れば、その素敵な暮らしに触れる中で「より深い八幡平を知る観光」を探って行きます。併い、10月01日は：
①訪日外国人を迎え入れる体験コンテンツのポテンシャルの理解
②体験コンテンツの創り方・磨き方・届け方のポイントの理解
この2点を中心にセミナーを開催しました。

今回は、他所から移り住んで来た方々の視点で、八幡平の魅力を活かすことが出来れば、その素敵な暮らしに触れる中で「より深い八幡平を知る観光」を探って行きます。併い、10月01日は：
①訪日外国人を迎え入れる体験コンテンツのポテンシャルの理解
②体験コンテンツの創り方・磨き方・届け方のポイントの理解
この2点を中心にセミナーを開催しました。

今回は、他所から移り住んで来た方々の視点で、八幡平の魅力を活かすことが出来れば、その素敵な暮らしに触れる中で「より深い八幡平を知る観光」を探って行きます。併い、10月01日は：
①訪日外国人を迎え入れる体験コンテンツのポテンシャルの理解
②体験コンテンツの創り方・磨き方・届け方のポイントの理解
この2点を中心にセミナーを開催しました。

今回は、他所から移り住んで来た方々の視点で、八幡平の魅力を活かすことが出来れば、その素敵な暮らしに触れる中で「より深い八幡平を知る観光」を探って行きます。併い、10月01日は：
①訪日外国人を迎え入れる体験コンテンツのポテンシャルの理解
②体験コンテンツの創り方・磨き方・届け方のポイントの理解
この2点を中心にセミナーを開催しました。

“観光地域づくり” III コンテンツ造成検討会 より深い八幡平を魅せる観光 「人と人の交流」を観光にする

個人商品の展開セミナーを開催！

プロジェクトの進捗

セミナーの前に、メンバーそれぞれが現在に至る経緯を語り、また相互にヒヤリングを進めて、素材の掘り起こしを進めました。現在は、11月中旬に予定しているモニタープログラムの為の仮説ワークショップの検討に入っています。

今回の設定は、八幡平の自然・その中で暮らす・生き方を交流体験する旅です。背景を知らない外国人の方が対象ですので、左記「8つの原則」などに照らし、印象深い環境づくり、展開する内容と表現の質の検証、驚きや発見も意識したストーリー構成など磨いて行きます。目標とするコンテンツ造成は10件、旅行商品としては5件を目指しています。

また、講師の佐々木さんのお話から、ニーズを感じて対応できるプロフェッショナルなガイド先ずは英語の必要性を強く感じました。

実践的なアドバイス 10/01のセミナー & 次回の開催について

興味のある方はDMO迄お問合せ下さい。

Simple シンプルでわかりやすい	Photogenic 写真映えする	Wow 感動を与える
Fulfillment 満足感を与える	BOOM	Repeatability リピートされる
Hospitality おもてなしの心	Universal 誰にでもわかる	Access アクセスしやすい

訪日外国人が満足する8つの原則

八幡平DMOの昨年度の活動報告

先月号から引続、活動内容を報告します。
④観光商品磨き上げ
八幡平DMOでは体験商品の磨き上げとして昨年度はサイクリングと食に注力しました。サイクリングでは地元ガイドと連携し、コースの設定、マップや動画を作成しました。また、八幡平ではマッシュルーム、鱒、牛肉、日本酒、様々な食材とそれに関わる魅力的な事業者があり、彼らを訪問し、その食材を味わうこと自体が魅力的な体験になると考え、八幡平オーベルジュと銘付ったコースを立案し、外国人を対象にしたモニターツアーを実施しました。こうした取り組みと調査結果などを併せて今年度からは

①冒険 アドベンチャー
②癒し リトリート
③食旅 ガストロノミー
という3つの分野を軸を立てて商品造成を進めてきます。

八幡平DMOと平館高校との取り組み
観光地域づくりに欠かせないもの。それは、人や地域に誇りを持ち、胸を張って地域の観光の魅力を伝えることができる人材が、次世代の地域観光を担っていく中心人物になると考えています。人材育成の一環として八幡平DMOでは昨年度から、県立平館高校家政科2年コミュニティデザインコース「地域観光基礎」のカリキュラムに、八幡平観光の講義を提供しています。昨年度

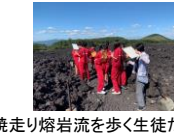
八幡平の観光の歴史は、八幡平の観光の歴史や、地方の観光の課題、そして八幡平ドラゴンアイをテーマにお土産品開発を手がけました。また今年度は、市内の観光地や観光施設の訪問などを実施。高校生たちは、八幡平市が年間190万人もの観光客が訪れる観光地であるという事実に驚きを抱く様子。八幡平観光を担う人材をひとりでも多く輩出できるように、地元高校との連携を大切にしていきたいと考えています。昨年度

セミナー


今後持続可能な観光地を目指す上で、観光業の人手不足が大きな課題と認識しています。DMOでは昨年度からJPA（ロボットによる業務自動化）の普及に取り組んでいます。RPAはパソコン上の操作を自動化する比較的安全なソフトで、予約内容や予約内容、それを指示書や印刷物に出力したりと日々の業務を自動化し、その積み重ねが従業員を雇用するのと同じ効果を生む場合があります。

また、外国人材の採用支援も今後手掛けたいと考えており、11月15日にセミナーを実施します。導入に向けた支援策もお話します。
八幡平PRセミナー
日時 11/15(土) 10:00~12:00
場所 八幡平市役所(受講料) 無料
問合せ (株)ナバベ宮 03-6758-0070
同日午後にも会場にて岩手銀行主催の外国人材採用に向けた、特定技能セミナーもあります。

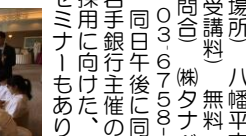
八幡平DMOと平館高校との取り組み
観光地域づくりに欠かせないもの。それは、人や地域に誇りを持ち、胸を張って地域の観光の魅力を伝えることができる人材が、次世代の地域観光を担っていく中心人物になると考えています。人材育成の一環として八幡平DMOでは昨年度から、県立平館高校家政科2年コミュニティデザインコース「地域観光基礎」のカリキュラムに、八幡平観光の講義を提供しています。昨年度



焼走り熔岩流を歩く生徒たち



八幡平ハイツで施設の説明を聞く生徒たち



八幡平ドラゴンアイをモチーフにしたスイーツの試作

※八幡平DMO通信

八幡平観光新聞は、8月に創刊し第3号となります。先般商工会さんの理事会にお邪魔した時に誰に對し、どの様な情報発信をどのタイミングでして行くのか？再構築するタイミングです。この新聞が情報の共有や議論のきっかけになる事を目指しています。DMOのサイトに、バックナンバーも公開しますので、是非ご覧ください。

※観光協会だより
東北6県のDMO決定
2022年4月9日の6ヶ月、国内最大の旅行企画「ステイネーションキャンペーン」が展開されます。これ迄にない規模と期間となりますので、大きな波に乗り遅れたい、のみ込まれたらりない様に、情報の収集と適切な協議を行ってエリアにたくさんの笑顔が生まれる様に：エリアにたくさん消費が生まれる様に：準備を進めて行きます。年内に企画を纏め、2月迄に商品として纏めて行きます！

※商工会だより
特集記事にありましたように、荒屋新町の体験工房周辺の専用マップが完成しました。体験工房の利用者はウェブや雑誌を観ての応募で年間6000名位週末に集中しています。本来は：宿泊・滞在型を目指した商品で、民宿・旅館・ホテルへ宿泊されるビジターの方をお迎えしたいと考えています。

※冬季に向けて：毎年、海外からのお客さまが増えて来ています。英語版のメニュー作成のお手伝いもしています。ご希望の方は商工会迄ご相談下さい。

台風の影響

台風の直接影響を免れ、今年もたくさんの方々に八幡平の紅葉シーズンも間もなく終了します。

アスピーテ&樹海ラインは10/15より夜間通行止めとなりました。11/05(火)の17時〜来春迄長い眠りにつきます。



台風の直接影響を免れ、今年もたくさんの方々に八幡平の紅葉シーズンも間もなく終了します。

常時開催・2〜4名で旅行：など個人旅行対応の条件整備も出ていました。
紅葉期間が落ち着くと、長期滞在のお客様も増加すると聞いております。是非リピーターを増やしていただき、お客様へご提案下さい。
※冬季に向けて：毎年、海外からのお客さまが増えて来ています。英語版のメニュー作成のお手伝いもしています。ご希望の方は商工会迄ご相談下さい。